

2018 年 9 月 24 日

DCU-F081PP ポールスピーカー

石田 隆

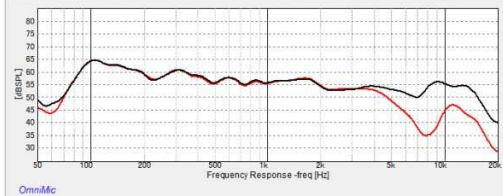


PARC の8cmポリプロコーンを使ったスピーカです。

ユニットは **MDF** の円形バツフル板に取り付け、長さ **15cm** ほどの **100cm** 径塩ビのパイプに接着しています。これを丁度内径にぴったりの直径 **100 cm**、長さ80cmのボイド管に挿し込んでいます。

ボイド管は下端は開放で中央付近に吸音材を入れ、外側は白塗装をしています。クロスのは高さは高さ **2cm** ほどの組み立て式でボイド管の下端を床から浮かせて開放する役目もしています。

ユニットが上向きなのでこのままですと正面ではかなり高域が下がりが赤線になってしまいます。そこでアルミのコの字アングルで反射させると正面では黒線になりますが、まだ全体に高域不足ですね。イコライザーで若干持ち上げたほうがよいようです。



低域は帯域的にはあまり伸びていませんが、**100 Hz** 辺りまでは無指向性で伸びているので、エネルギー的には充実して、8cmスピーカとは思えない聴感でもかなり厚みのある音がしています。

今回の差込方式ではなく、ストレートのボイド管で作れば構造も簡単で面白いスピーカだと思います。

ケンのオーディオメモ <https://milestone.at.webry.info/>